

## 京野菜向け畜産堆肥ペレット肥料を試作

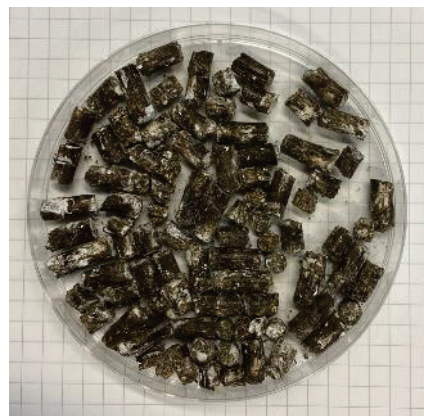
化学肥料価格が高騰している中、京野菜生産においても肥料コスト低減のためには畜産堆肥の活用が有効です。京野菜の栽培においては、品質を保ちながら、省力化を進めることが望まれており、中でも堆肥や肥料散布の労力は課題となっています。一方、令和2年の法律改正により畜産堆肥と化学肥料を混合した肥料が生産しやすくなり、この混合肥料をペレット化することで汎用機械での散布や施肥回数低減による施肥作業の省力化が期待できます。

そこで、当センターでは、京野菜向けに、畜産堆肥と化学肥料を混合した畜産堆肥ペレット肥料生産技術を確立するための試験研究に取り組んでいます。

11月下旬に、栽培<sup>ごよみ</sup>暦に基づいた紫ずきん用元肥1種類とえびいも用追肥2種類の計3種類のペレット肥料の試作を行ったところ、いずれも直径5mmのペレット肥料を作製することができました。今後は作製した肥料を用いて肥料成分の溶出や保存性等の試験を行い、肥料特性を把握するとともに、来年度以降は農林センターでの試験栽培を行った後、農家での栽培実証を行いたいと考えています。



ペレット肥料の成形



ペレット肥料の試作品(1目盛:5mm)